



our vision

ビジョン

女性が自らをいかし元気に活躍できる



our mission

ミッション

女性たちが、地域、社会につながるプラットフォームとなる

女性たちが必要な力をつける機会をつくる

災害を経験した女性たちの声を内外に届ける



女性のまなざしでしなやかな社会を

WE

特定非営利活動法人ウィメンズアイ



2017 年度活動報告書・決算報告書

2017 年 6 月 ~ 2018 年 5 月

グラスルーツ・アカデミー東北 *grassroots leaders* 国内研修プログラム

活動地域 岩手・宮城・福島



背景

東北被災 3 県で、社会課題に関わる地域活動をおこなう若年女性のエンパワーメントを通じて、孤立しがちな地域の女性リーダーをつなぎ、互いの活動から学び、高め合える関係をつくるプロジェクト。2016 年度以来、集合研修経験者を「アカデミー参加者」と位置づけ、相談にのりながら、学ぶ機会、力を発揮する機会を提供。参加者たちは互いに出会わなければならなかった取り組みに挑戦しています。

おもな実績

- ・アカデミー参加者累計 80 名のコミュニティ／2017 年度岩手集合研修（2泊3日盛岡・花巻）18 名参加／コミュニティアクション*小口助成 5 件
- ・学びの機会提供▶PCM 研修、メディア講座、ジェンダー基礎知識講座（11 名参加）

成果

長期で取り組んできた結果、初期からの参加者たちに変化と影響が顕著に表れました。今年度集合研修後のアンケートでは、9 割以上が「新しいつながり、理解者が増えた」「視野が広がった」、7 割以上が「組織運営のヒントが得られた」「仲間を支援・サポートしたい」「もっと学びたい」と意欲的な回答をしています。

意欲が行動につながったケースも生まれています。たとえば、初回からの参加者であるまんまるママいわて代表の佐藤美代子さんは今回の研修講師を務めてくれました。一人の活動が仲間を作り先進的な産後ケア事業にまで発展した経緯を伝えてくれたことは、参加者たちの大きな力となりました。

*グラスルーツとは？

日本語で「草の根」の意味。大きな組織に属さずとも地域や社会の課題に気づいた自らが、それを少しでも良くするために、積極的に活動する、ことを後押ししています。

*コミュニティアクションとは？

アカデミーに参加する草の根リーダーたちが、自分の地域課題に取り組むアクション（イベント、お話会など）を起こすために、100,000 円未満の少額助成をおこなうプログラムを実施しました。

もうひとつの例は、地域と県を超えた好事例の波及です。

2015 年度に地元ママサークルと WE が南三陸町で開催した「子そだてフェスタ」をヒントに、2016 年度にアカデミー参加者が陸前高田市での「ママフェス」を主催。翌年度には市の支援を得て初回の 3 倍の動員（450 名）となりました。さらに気仙沼市のアカデミー参加者がこのママフェスを視察したことで、2018 年 2 月に気仙沼市でもこれにヒントを得たイベント開催につながりました。アカデミーに参加することで行動する力がつき、信頼できる仲間を見つけて実現し、さらに伝播するという流れが生まれてきています。

岩手集合研修参加者の声

- ・アカデミーに毎回参加するたびに、絶対確実に自分が強くなっている、いままでなかった解決策が自分のなかからわきあがってくるのを感じます（40 代女性）
- ・悩みは尽きないけれど、新しい視点を知ってしまったら、見える景色が違います（40 代女性）

*この事業は国際 NGO JEN とのパートナーシップのもとおこないました。



岩手研修では、盛岡市の庭園が見事な南昌荘で2日間を過ごし、最終日に花巻市のまんまるママいわて、花巻 co-ba を訪れました。チームで達成することを体験し、お互いの活動を知り、先輩活動家から学び、強いつながりを作ることができた3日間でした

グラスルーツ・アカデミー東北 *grassroots leaders* 海外研修プログラム

活動地域 米国 ロサンゼルス



背景

グラスルーツ・アカデミー東北に参加する若年女性たちの草の根地域活動が社会変革につながるには、リーダーとして自信と勇気を持ち活動を続けていくことが不可欠です。しかし、身近には適切なロールモデルがいません。

2016年2月のグラスルーツ・アカデミー東北国内研修（陸前高田）に講師として来日した、防災の世界で高名な地震学者ルーシー・ジョーンズ博士との出会いをきっかけに、ロサンゼルス研修を企画・実施しました。社会起業家、NPO リーダーなどから「事業主」マインドを学ぶとともに、自らの活動を海外で発表し、市民たちと対話しました。

おもな実績

・ロサンゼルス研修 アカデミー参加者選抜 10 名参加

・研修内容

講話『リーダーシップとレジリエンス』『NPO の戦略的計画と継続性』『草の根からグローバルリーダーへ』『女性の視点の防災』『セルフケアについて』『ソーシャルワーカーとしての人生』
意見交換 オクシデンタル大学／若手女性起業家との対話

訪問 NPO キズナ／日米文化会館／ロサンゼルス市役所、市議会／カーサ・エスペランサ（希望の家）／ハリウッドでのコミュニティ支援／テレビ局 KABC

成果

2018年2月に実施したロサンゼルス研修後のアンケート調査では、ほぼ全員が「これまでよりもっと活動ができる」と答えており、地道に地域で活動する女性たちが、活動と自身に対する自信を深めて帰ってきました。独身であろうと母親であろうと、女性が学び、前進することは地域や子どもたちのためになることだ、という確信を得られたという趣旨のコメントが多かったのも特徴です。

彼ら参加者 10 名はロサンゼルス研修での学びを伝える報告会を計 14 回それぞれ自分の地域で開催し、のべ 400 名以上が参加。高校生など若い世代にも影響力を発揮することができました。

*この事業は TOMODACHI イニシアチブの協力のもと、J.P. モルガンの助成でおこなわれました。

ロサンゼルス研修参加者の声

- ・「自分を知ること」「本当に自分が求めるものは何か？」の気づきは、それ自体が自分のパッションとなることを知りました。（30 代女性）
- ・「女性だから」とか「東北だから」とかは言い訳にすぎず、もっともっと私でも出来ることがあると気づきました。（30 代女性）
- ・自分の抱える不安から目をそらさず、女性としてのこれからの人生をしっかりと考える機会になりました。（20 代女性）



頁右上：ハリウッドでの生活困窮者支援活動を見学

上段：市庁舎を表敬訪問し、自らの経験を伝えました

中段：女性起業家の情熱あふれる行動に感動。勇気を出すおまじないを教わりました。腰に手を当て自分に言い聞かせます、「アイムストロング」

下段：ルーシー・ジョーンズ博士宅にて津波被害の写真を研究者に説明